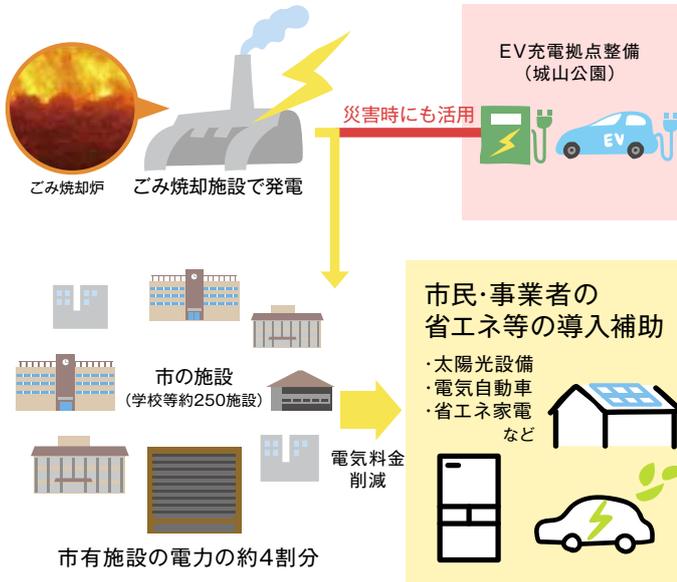


熊本市では、環境にやさしいごみ発電を行っています!



私たちが使用している電気の70%以上は、石炭や石油、天然ガス等を燃やして発電を行う火力発電により賄われおり、発電するために大量のCO₂を排出しています。

熊本市には東部環境工場と西部環境工場の2つのごみ焼却施設があり、燃やすごみを焼却していますが、ごみを焼却する際の熱を利用して発電も行っています。ごみを焼却する際はCO₂が排出されますが、ごみを焼却する際の熱を利用して発電した電気はCO₂を排出しない電気とみなされるため、環境にやさしい発電施設となっています。

また、発電した電気を、市の施設で活用することで電気料金を抑えることができ、削減された電気料金を活用して、市民や事業者の皆様が省エネ機器等を導入するための補助金を交付し、省エネ機器等の普及を促進することで、地球温暖化対策を推進しています。

そのほか、ごみ焼却施設で発電した電気を、市が敷設した電線を通して電気自動車の充電器に送電することで、災害時においてもごみ焼却施設が稼働し続ける間は電気を使用できる仕組みを整えるなど、災害対応力の向上にも努めています。

ウォームビズ/クールビズでエコに節約!

COOLBIZ **WARMBIZ**

冬季、夏季はエアコンの使用などでエネルギー消費が多くなります。地球温暖化の防止と電気代の削減のため、みなさんも無理のない範囲で冬の省エネをはじめましょう!

エアコンの省エネ

設定温度を1度上げるだけで
 ひと夏
約940円の節約

使用時間を1日1時間短縮すると
 年間
約1260円の節約

フィルターの清掃を月1、2回行い、目詰まりをなくすと
 年間
約990円の節約

熊本市地球温暖化防止活動推進センターより

環境省事業 令和6年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(地域における地球温暖化防止活動促進事業)の事業にて2回のセミナー開催しました。

2024年
9/26
(木)

中小企業の脱炭素経営に向けた電気料金高騰対策に関するセミナー

会場:西部ショッピングセンターパティ2階 パティホール
後援:熊本県、熊本市
参加者:27名



電気料金の推移や削減対策について、PPA太陽光発電のメリット・デメリット等を説明しました。また、脱炭素社会とZEBの動向や補助金について発表。中小企業の省エネ診断も提案されました。

2024年
11/25
(月)

省エネ法改正に伴う脱炭素経営対策に関するセミナー

会場:くまもと森都心プラザ6階 D会議室
後援:熊本県、熊本市
参加者:26名



改正省エネ法や、非化石エネルギー転換について、PPA太陽光発電の効果や脱炭素先行地域の事例などを説明。ZEBの基礎やダイキンの普及型ZEB事例を報告しました。

脱炭素経営は、まず省エネ診断を受けることから始まります!